

# I. 推薦入試 I (大学入試センター試験を課さない)

## 1. 募集人員

学域・学類等		募集人員	
人間 社会 学 域	人	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	1人
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学	1人
	文	歴史文化学コース 専門分野：東洋史学	1人
		歴史文化学コース 専門分野：西洋史学	1人
	学	言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学	1人
		言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	1人
	経済学類		10人
	校 教 育 類	特別支援教育専修	5人
		美術教育専修	3人
		地 学 域 創 造 類	福祉マネジメントコース
環境共生コース			4人
国際学類		15人	
理 学 工 域	自然システム学類	7人	
医 薬 保 健 学 域	保	看護学専攻	15人
		放射線技術科学専攻	6人
	健 学 類	検査技術科学専攻	6人
		理学療法学専攻	5人
		作業療法学専攻	5人

推薦入試 I

- (注) 1. 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて)へ出願することができるのは、1つの大学・学部(学域学類)に限られます。
2. 国際学類は、第1次選考と第2次選考により選抜を行い、第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。
3. 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般入試の合格者で補充します。
4. 原則として、入学後の転学類・転専攻等を認めません。

## 2. 推薦要件

学域・学類等		推 薦 要 件
人 間 社 会 学 域	人文学類 人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学 専門分野：中国語学中国文学	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者*で、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。  ※「国語・外国語・地理歴史・公民の4教科にかかわる科目の評定平均値が4.3以上に該当する者」とは、高等学校生徒指導要録に基づき、当該4教科の各科目の評定の合計数を評定数で除した数値が4.3以上である者を指します。
	経済学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 高等学校（若しくは中等教育学校）の専門教育を主とする学科又は総合学科で専門教育に関する各教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）して平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、次のすべての要件を満たすもの (1) 高等学校（若しくは中等教育学校後期課程）における学習成績概評がA段階以上（評定平均4.3以上）に該当する者 (2) 出身学校長が責任を持って推薦できる者 (3) 特別活動又は校外での活動において優れた能力を有する者が望ましい 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	学校教育学類 特別支援教育専修	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき2名以内とします。
	学校教育学類 美術教育専修	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 特に美術に優れ、美術教育に熱意を有し、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
	地域創造学類 福祉マネジメントコース	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

学域・学類等		推 薦 要 件
人間社会	地域創造学類 環境共生コース	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	国際学類	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、出身学校長が責任を持って推薦できるもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 本学類への明確な志向と勉学の熱意を有する者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
理工域	自然システム学類	以下の1から3のすべての条件を満たす者 1. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 人物及び学業成績が優秀で、本学類における勉学に熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者
医療保健学域	保健学類 看護学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、看護学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 放射線技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、放射線技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 検査技術科学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、検査技術科学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。
	保健学類 理学療法学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

学域・学類等		推 薦 要 件
医 薬 保 健 学 域	保健学類 作業療法学専攻	以下の1から4のすべての条件を満たす者 1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月から平成24年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成23年4月から平成24年3月までに修了又は修了見込みの者 2. 学業成績が優秀、人物に優れ、作業療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者 3. 合格した場合、入学することを確約できる者 4. 推薦は、1校につき1名とします。

### 3. 選抜方法

志望する学域学類等が課す小論文、面接等すべてを受験しなければ、失格となります。

学域・学類等		選 抜 方 法	
人 間 社 会 学 域	人文学類 人間科学コース 専門分野：哲学・人間学 歴史文化学コース 専門分野：日本史学 専門分野：東洋史学 専門分野：西洋史学 言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学 専門分野：中国語学中国文学	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。（調査書、推薦書、志願理由書は、平素の学習活動の成果を確認し、勉学意欲・資質等を判断するための評価資料として、面接の参考とします。） 小論文の出題方法については、下欄〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕各専門分野の①を参照してください。 3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 (採点・評価基準) 小論文：下欄〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕各専門分野の②を参照してください。 面 接：多面的な試問を行い、勉学意欲・当該専門分野で学習を進めるのに必要な資質等を総合的に評価します。	
		<b>〔小論文の①出題方法と②採点・評価基準〕</b>	
		人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	①哲学や倫理学に関わるテーマについて、関連する文章を提示した上で、論述させます。 ②課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学	①日本史に関する課題について論述させます。関連する資料等を提示することもあります。 ②課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：東洋史学	①関連する文章や資料を提示した上で、アジアを中心とした世界の歴史に関する課題について論述させます。 ②課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
		歴史文化学コース 専門分野：西洋史学	①欧米を中心とした世界の歴史に関わるテーマについて論述させます。その際、文章や資料を提示することもあります。 ②課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等（それらの前提となる基礎知識を含む）を総合的に評価します。
		言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学	①日本語や日本文学に関する文章について論述させます。 ②課題に対する理解力・論理的思考力・表現力等を総合的に評価します。
言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学	①言葉と文学をテーマとする文章を提示し、それらについて論述させます。文章は、英語文、中国語文の二つを提示します。いずれかを選択して日本語で解答します。 ②言葉に対する感性、表現力、思考力及び外国語能力を総合的に評価します。		

学域・学類等		選 抜 方 法
人 間 社 会 学 域	経済学類	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類（調査書、推薦書、志願理由書）等により総合して行います。 小論文：現代の文化・社会・経済に関する「小論文Ⅰ」（英文の資料を与え英和辞典を貸与します。）及び「小論文Ⅱ」を課し、いずれも出題された論題について、800字程度で論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文Ⅰ 100点 小論文Ⅱ 100点 面 接 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：現代の文化・社会・経済に関する日本語又は英文を読解させ、理解力・分析力、論理的思考力、表現力を評価します。 面 接：高校時代における体験、大学入学後の計画、大学の授業を理解するための基礎知識等を評価します。 調査書・推薦書：平素の学習活動の成果を確認するものとして、面接の参考とします。</p>
	学校教育学類 特別支援教育専修	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 小論文：特別支援教育に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 400点 面 接 200点 〈採点・評価基準〉 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、勉強意欲や資質等を総合的に評価します。</p>
	学校教育学類 美術教育専修	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、実技、小論文、面接（作品提出を含む）の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。 実 技：デッサン（用具として、鉛筆、消しゴム及びデッサン用具を持参してください。） 小 論 文：美術に関わる種々のテーマから出題し、800字程度で論述させます。 提出作品：自作による美術作品1点以上。分野、作品の大きさは自由とし、面接時に持参できるものとしします。</p> <p>3. 配点：実 技 50点 小論文 30点 面 接 20点 〈採点・評価基準〉 実 技：形体に対する表現力を総合的に評価します。 小論文：課題について論述させ、課題に対する思考能力と論述能力から総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、基礎知識・論理的思考能力及び勉強意欲や資質並びに提出作品等を総合的に評価します。</p>
	地域創造学類 福祉マネジメントコース	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文：福祉に関することを論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：福祉に関連する課題について論述させ、課題に対する分析能力、洞察能力、論述能力等を総合的に評価します。 面 接：高校時代の体験、時事問題への関心、自主的・自発的行動力、入学後の勉強意欲等を総合的に評価します。</p>
	地域創造学類 環境共生コース	<p>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</p> <p>2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。 小論文：環境共生に関することを論述させます。</p> <p>3. 配点：小論文 100点 面 接 100点 〈採点・評価基準〉 小論文：環境共生に関わる課題に対する思考能力、分析能力、論述能力を総合的に評価します。 面 接：多面的な試問を行い、環境共生コースでの学習意欲、課題への関心、資質等を総合的に評価します。</p>

学域・学類等		選 抜 方 法
人間 社会 学域	国際学類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 第1次選考：提出された書類の審査，小論文の成績 小論文：英語の文章を読ませ，それに関する問いに英語及び日本語で答えさせ，英語の知識とともに社会・文化についての知識や論理的思考力を見ます。</li> <li>3. 第1次選考結果は，平成23年11月17日(木)に本人あて通知します。</li> <li>4. 第2次選考 (1) 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。 (2) 第2次選考は，調査書，推薦書，志願理由書，面接の結果を総合して行います。なお，調査書は面接の参考とします。 (第2次選考評価基準) ① 大学での国際学の学習に必要な基礎的知識を備えているか ② 日本語によるコミュニケーション能力を十分備えているか ③ 自主的・主体的に課題に取り組む意欲は強いのか</li> <li>5. 合否判定 第1次選考（100点満点）と第2次選考（100点満点）の結果を総合して行います。</li> </ol>
理 工 学域	自然システム学類	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 選抜は，小論文，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書（志願する理由等，自己アピールを500字以内でまとめた自筆のもの）等提出された書類により総合して行います。 小論文：科学・技術に関することを論述させます。</li> <li>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書，推薦書，志願理由書を含む）200点 (採点・評価基準) 小論文：設問に対する理解度と文章の構成，論理性，表現力等を評価します。 面 接：高校生活及び志願理由書の内容等に関する質問を通じて，当該分野における勉学意欲及び理解力等を評価します。 調査書：出身高校での学業成績を評価します。なお，入学前の学習指導並びに入学後の講義履修指導にも用いることがあります。</li> </ol>
医 薬 保 健 学 域	保健学類 看護学専攻	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 選抜は，小論文，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：健康に関するテーマについて800字以内で論述させます。</li> <li>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）100点 (採点・評価基準) 小論文：課題から基礎的知識及び本学類の適格性について評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</li> </ol>
	保健学類 放射線技術科学専攻	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 選抜は，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。</li> <li>3. 配点：面 接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）100点 (採点・評価基準) 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</li> </ol>
	保健学類 検査技術科学専攻	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 選抜は，小論文，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：医学に関する「小論文」（英文の資料を与えます。英和辞典は，持ち込み可とします。）を課し，出題された論題について論述させます。</li> <li>3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）100点 (採点・評価基準) 小論文：課題から論理的，具体的に論述しているかを評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</li> </ol>
	保健学類 理学療法学専攻	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。</li> <li>2. 選抜は，面接の結果及び調査書，推薦書，志願理由書等提出された書類により総合して行います。</li> <li>3. 配点：面 接（調査書，推薦書，志願理由書等を含む）100点 (採点・評価基準) 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。</li> </ol>

学域・学類等		選 抜 方 法
医 薬 保 健 学 域	保健学類 作業療法学専攻	1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 選抜は、小論文、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。 小論文：人間・医療に関する科学的思考について800字以内で論述させます。 3. 配点：小論文 100点 面 接（調査書、推薦書、志願理由書等を含む）100点 （採点・評価基準） 小論文：課題から基礎的知識及び本学類の適格性について評価します。 面 接：医療人としての適格性を評価します。 調査書：総合的に評価します。

#### 4. 試験期日・試験時間

学 域 ・ 学 類 等			試 験 期 日 ・ 試 験 時 間				
人 間 社 会	人 文 学 類	人間科学コース 専門分野：哲学・人間学	平成23年11月26日(土)	小論文	9:30~11:30		
		歴史文化学コース 専門分野：日本史学					
		歴史文化学コース 専門分野：東洋史学					
		歴史文化学コース 専門分野：西洋史学					
		言語文化学コース 専門分野：日本語学日本文学					
		言語文化学コース 専門分野：中国語学中国文学					
学 校 教 育 学 類	特別支援教育専修	平成23年11月26日(土)	小論文	9:00~10:20	面接	13:00~	
	美術教育専修	平成23年11月26日(土)	小論文	9:00~10:20	実 技	10:40~12:40	面接
地 域 創 造 学 類	福祉マネジメントコース	平成23年11月26日(土)	小論文	9:00~10:30	面接	13:00~	
	環境共生コース						
会	経済学類	平成23年11月26日(土)	小論文Ⅰ	10:30~12:30	小論文Ⅱ	13:30~15:00	
		平成23年11月27日(日)	面接	9:00~			
理 工 学 域	自然システム学類	平成23年11月26日(土)	小論文	10:00~11:30	面接	13:00~	
		平成23年11月26日(土)	小論文	10:00~11:30	面接	13:00~	
医 薬 保 健 学 域	保 健 学 類	看護学専攻	平成23年11月26日(土)	小論文	10:00~11:30	面接	13:00~
		放射線技術科学専攻	平成23年11月26日(土)	面接	9:00~		
		検査技術科学専攻	平成23年11月26日(土)	小論文	10:00~11:30	面接	13:00~
		理学療法学専攻	平成23年11月26日(土)	面接	9:00~		
		作業療法学専攻	平成23年11月26日(土)	小論文	10:00~11:30	面接	13:00~

(注) 試験会場等の詳細は、受験票送付の際に通知します。